

第4章 基本施策

基本施策の見方

基本施策ごとに見開き1ページに整理しており、次のような構成でまとめています。

実現を目指したい
まちの姿を記載し
ています。

基本施策ごとの現
状及び課題を記載
しています。

用語解説等、補足
情報を記載してい
ます。

目標2 健康で、安心して住み続けられるまち

基本施策(7) 健康づくりの推進

目指すまちの姿

母子保健活動の推進や、各種健康教室、健康相談等の充実により、全てのライフステージに応じた健康づくりを支援するとともに、西普天間住宅地区跡地への国際医療拠点構想を見据え、市民が生涯にわたり、健康でいきいきと暮らすことのできる健康都市の実現を目指します。

現状と課題

- 「一次予防」に重点を置き、各種健康教室の開催を行っていますが、働き盛り世代の参加者が少ない状況です。
- 平成27年度特定健診受診率は33.2%で、県内下位となっています。受診率向上に向けた取り組みとして、重点的な受診勧奨を行うためのモデル自治会の選定や、受診率上位3自治会及び受診者数が増加した自治会の表彰を行っています。
- 高齢化や医療の高度化により、医療費が年々増加傾向にあるため、医療費の適正化が求められています。
- 母子保健活動について、各種健診や健康教室等を実施していますが、専門職の人材確保が求められています。
- 西普天間住宅地区跡地での国際医療構想の実現に向けて、関係機関と協議を行っています。



はごろもウォーキング大会



健康づくり市民大会

用語解説

○国際医療拠点構想とは・・・

平成27(2015)年3月に米軍から返還されたキャンプ瑞慶覧の一部である「西普天間住宅地区」の跡地に、琉球大学医学部及び同附属病院の移転を中心に、高度医療や研究機能の充実、地域医療水準の向上、国際的な研究交流及び医療人材育成等を図る構想のこと。

計画期間中に実施する施策及びその取組方針、主な取り組みを記載しています。

「重点プロジェクト」に位置づけられる取り組みには以下のように表記しています。

- ・子ども成長支援プロジェクト…
- ・生活安全・安心プロジェクト…

施策の展開

【施策名】	【取組方針】	【主な取り組み】
①健康づくり活動の充実	生涯を通じた健康づくりを支援していくために、健康教室、健康相談の充実等により健康づくりに関する意識の啓発に努めます。 また、家庭や学校、保育所、地域等と連携し、食育等の充実を図ります。	○健康相談の充実 ○各種健康教室の充実 ○保健活動の担い手育成 ○食育の推進
②疾病予防対策の強化	特定健診等の受診率向上のため、積極的な受診勧奨や市民が受診しやすい健診を実施するほか、特定保健指導の充実強化、各種予防接種の情報提供や接種費助成による接種勧奨等を行い、病気の予防と早期発見を図ります。	○健診等の情報提供 ○受診しやすい健診等の実施 ○特定保健指導の充実強化 ○生活習慣病の重症化予防の推進 ○各種予防接種の情報提供の充実 ○任意予防接種の公費負担の実施
③医療費適正化の推進	医療費は、医療の高度化や年齢の上昇等に伴い、高くなる傾向があります。増大する医療費抑制のため、被保険者資格の適正化、第三者求償事務の充実強化、ジェネリック医薬品に関する情報提供等を行い、医療費の適正化に努めます。	○医療費適正化の推進 ○被保険者資格適正化の推進
④母子保健活動の推進	妊娠期から乳幼児期における各種健診や教室等の事業を通じ、健康づくりを推進することにより、生活の質の向上を図り、地域で安心して暮らせるよう関係機関と連携し支援します。また、学校等と連携し、思春期保健の充実を図ります。	○健診の充実 ○健康相談の充実 ○健康教室の充実 ○母子健康手帳交付時の保健相談の充実 ○思春期保健の充実
⑤国際医療拠点構想の推進	琉球大学医学部及び同附属病院を中心とした、国際医療拠点構想の実現を目指します。	○国際医療拠点構想実現に向けた関係機関との連携

目標指標

指 標	現状値 (H27)	目標値 (H31)
健康相談人数	659人	950人
特定健診受診率	33.2%	60%
麻しん・風しん予防注射接種率	97.8%	95%以上の維持
ジェネリック医薬品利用率	73.2%	80%

関連する主な個別計画等

- ・宜野湾市健康増進計画 健康さのわん 21（第2次）(H26～35年度)
- ・宜野湾市食育推進計画 (H26～35年度)

取り組みに明確な方向性を与えるため、目標指標を設定しています。平成31年度を目標値設定年度とし、平成32年度に評価を行います。

基本施策に関連する各分野の個別計画等を記載しています。